



料金後納
郵便

POST CARD

第3四半期の情報は、中面をご覧ください。



TOP MESSAGE

ご挨拶

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。2009年度第3四半期を終了いたしましたので事業の概況をご報告いたします。

当第3四半期の半導体市場は、各国の景気刺激策によって売上が拡大したデジタル家電向けの需要増加の影響等により、海外を中心に回復傾向となりました。一方、国内につきましては景気停滞や円高の影響等により、本格的な回復はやや遅れる状況で推移いたしました。

当社につきましても、海外を中心に業績は回復傾向となり、昨年量産を開始したMタイププロブカード「MCシリーズ」につきましても継続的な売上確保をすることもできましたが、国内需要が本格的な回復に至らず、売上、利益ともに厳しい状況で推移いたしました。

しかし半導体市場は着実に回復方向に進んでおり、当社といたしましても今後の飛躍に備え、Mタイプの製品競争力向上、Vタイプの更なる拡販、海外販売の強化を図り、利益体質の再構築を加速させ、売上確保と利益向上に努めて参ります。

今後とも皆様の暖かいご支援よろしくお願いたします。

代表取締役社長 坂根英生

TOPICS

「SEMICON JAPAN2009」に出展

半導体製造に関する装置・材料メーカーが集まる国際展示会「SEMICON JAPAN2009」が、昨年12/2～12/4の3日間、幕張メッセにて開催され、例年同様当社も出展しました。今回の展示会は世界的な不況の影響もあり、出展社数は924社(昨年1,477社)に、来場者数(延べ概算)も64,100人(昨年97,000人)



に減少しましたが、回復しつつある半導体市況をより確実なものにしようとする、出展者、来場者の想いが、明るく活気のある会場にさせていました。

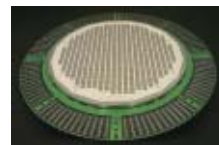
当社においては、ブース全体を囲むように展示されたMC、VTなどの新製品や、



中央に配置をした大型ビジョンから映し出される当社の歴史、プロブカードや各製品のプレゼンテーションが、多くの方の関心を引きました。ご来場者の方々には、製品説明はもちろん、半導体テストに関する問題を伺い、意見交換をさせて頂くなど当社の製品、企業力を十分にアピールすることができました。

Mタイプの近況

中期経営計画の重点戦略「Mタイプ」の事業化につきましても、今年度第1四半期に販売を開始して以来、引き続きフラッシュメモリー向けMCシリーズを継続的に受注しております。フラッシュメモリーはスマートフォン、ノートパソコン向けなどにおいて、今後需要拡大が見込まれているICです。今年度下期のMCシリーズ売上目標7.8億円の達成にむけて努力をするとともに、製品競争力向上に努めさらなる拡販を目指します。



BUSINESS REPORT
JEM TODAY 2009年度第3四半期のご報告
(2009年4月1日から2009年12月31日まで)

 日本電子材料株式会社 <http://www.jem-net.co.jp>
証券コード:6855

株主名簿管理 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料)
送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

JEM TODAYは年4回発行 最新情報をお届けします

JEM TODAYは毎年4回、四半期ごとに発行。第1四半期・第3四半期のご報告はハガキ形式で、第2四半期・通期のご報告は冊子形式で当社の最新情報をお届けします。

株式関係のお手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、下記、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777（通話料無料）



2009年度 第3四半期のご報告

事業環境

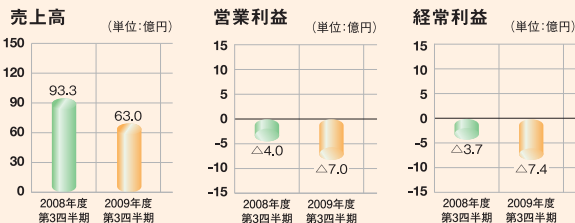
当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、各国の景気刺激策等により、回復傾向で推移いたしました。メモリーICにつきましては、スマートフォン、携帯音楽プレーヤー、ノートパソコン等の売上拡大により堅調な需要となりました。ロジックICにつきましても、薄型テレビや環境対応自動車等の需要増加により、海外を中心に改善傾向となりました。一方国内のロジックICは景気停滞や円高の影響等により本格的な回復は遅れる状況で推移いたしました。

売上高・収益動向

当社グループにつきましては、メモリーIC向けに対してはVタイププローブカードや新製品のMタイププローブカードを、ロジックIC向けに対してはCタイププローブカードを中心として拡販に努めました。その結果、海外を中心に業績は回復傾向となり、昨年量産を開始したMタイププローブカード「MCシリーズ」の継続的な売上確保をすることもできましたが、国内需要が本格的に回復に至らなかったため、売上、利益ともに厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、63億1百万円（前年同期比32.5%減）、営業損失は7億6百万円（前年同期は営業損失4億7百万円）、経常損失は7億4千2百万円（前年同期は経常損失3億7千1百万円）、四半期純損失は7億7千4百万円（前年同期は四半期純損失2億3千8百万円）となりました。

業績の概況（連結累計）



業績予想

2010年2月4日に通期業績予想を修正いたしました。

2009年度通期業績予想の修正（2009年4月1日～2010年3月31日）

（連結）

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	9,600	△680	△700	△700
今回修正予想	8,920	△660	△690	△730

（個別）

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	8,700	△600	△600	△370
今回修正予想	7,840	△800	△770	△570

業績予想の修正理由

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、各国の景気刺激策等によるデジタル家電の需要増加等に伴い、海外半導体メーカーやメモリーICを中心に改善傾向となりました。一方国内ロジックICの本格的な回復は遅れる状況で推移いたしました。

当社においても海外を中心に業績は回復傾向となりましたが、プローブカード市場全体の回復は力強さを欠いており、激しさを増す価格競争と相まって本格的な受注回復には至っておりません。このような状況を踏まえ業績予想を修正いたします。

今後も市場環境は厳しさを増すことが予測されますが、売上確保および原価低減と経費節減による利益向上に努めてまいります。

配当について

年間1株当たり10円（第2四半期末5円、期末5円）の予定に変更ありません。